

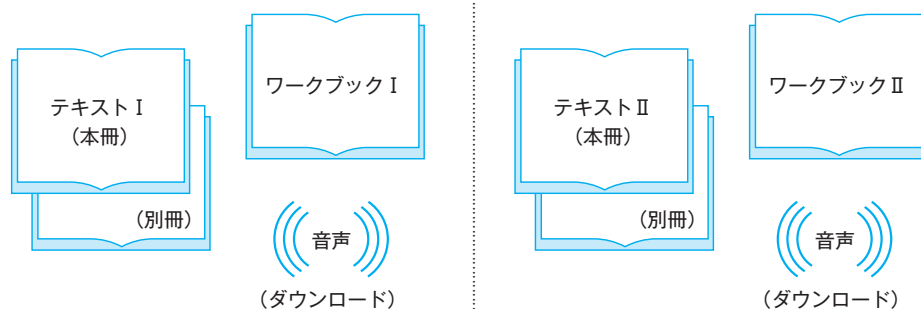
# 本書について

## 1 『中級日本語 カルテット』とは

『中級日本語 カルテット』は初級（250～300時間）が終わった学生のための中級総合教材です。中級レベルに必要な文法・表現・ストラテジーを学び、4つのスキル（読む・書く・話す・聞く）をバランスよく身につけることを目標にしています。

教材はⅠ（第1課～第6課）とⅡ（第7課～第12課）に分かれていて、それぞれにテキストとワークブックがあります。ⅠとⅡでCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のB1レベル到達を目指します。

学習内容は、Ⅰは日本語能力試験のN3レベル、ⅡはN2・N1レベルを中心に、各課、文型・表現を約10項目ずつ、漢字は約45字ずつ、読みのストラテジーを1～2項目を学びます。第Ⅱ巻全体では、文型・表現65項目、漢字330字、読みのストラテジー10項目になります。



## 2 テキストⅡの構成と内容

『中級日本語 カルテット』のテキストには、1つの課に「読む」「書く」「話す」「聞く」のセクションがあり、共通するテーマでつながっています。「読む」の読み物のトピックが「書く」の作文や「話す」の会話、「聞く」の聴解でも取り上げられていたり、聴解には読み物の文型・表現が使われていたり、各セクションが様々な形で関連していることで、4つのスキルを自然にバランスよく伸ばすことができます。読み物の単語リスト・漢字リストは、本文を見ながら使えるように、テキストに付属する「別冊」に収録しています。また、課の後ろに「ブラッシュアップ」として、語彙や表現を広げる活動と漢字に関するセクションがあります。

以下、テキストⅡの構成と内容について説明します。

## (1) 第7課～第12課

### 読む 2つの読み物で「文型・表現」や「読みのストラテジー」を学ぶ

- **読む前に・読んだ後で** 「読む前に」では、読み物のトピックについて質問に答える形でスキーマを活性化させ、読む準備をします。「読んだ後で」では、読み物の内容を自分の言葉でまとめたり、自分の国と比べたり、自分の経験や意見について話したりします。
- **読み物** 各課に「読み物1」「読み物2」の2つがあり、課が進むにつれて少しずつ難易度を上げてあります。トピックには、多くの学習者が興味を持っている日本文化や社会に関するものを中心に取上げています。テキストⅡでは、第8課の読み物1を除くすべての読み物が生教材で、学習者向けにコントロールされていない読み物です。学習者が「読める」達成感を感じながら学習を進められることを目指しました。
- **読みのストラテジー** その課の読み物を理解するのに有効だけでなく、読解全般に広く応用が利くストラテジーを学習します。テキストⅠ同様、テキストⅡでも、文の読み方に関わるものと文章構成を理解するためのストラテジーを取り上げています。
- **文型・表現ノート** 読み物で使われている文型や表現の解説です。テキストⅡでは日本語能力試験のN2・N1文法を中心に、主に中級レベルの文型・表現を取り上げました。英文の説明と共に例文を数多く載せて、例文から文型・表現の意味や使い方が確認できるようにしてあります。見出しに「★」が付いている項目は、話せること・書けることを目指すもの、「★」がない項目は意味がわかればよいものです。

### 書く モデル作文をもとにして作文を書く

「書く」では、「読む」で学んだことを使って、読み物と関連したテーマで短い文章を書きます。実際に作文を書く前に、「モデル作文」や「書くポイント」を読んで文章の構成や書く時の注意点を理解したり、「書いてみよう」の質問に答えてブレインストーミングをしたりすることができるようになっていきます。

### 話す モデル会話をもとに会話パターンの練習を行う

「話す」には、「会話1」「会話2」のセクションがあり、それぞれ1つのモデル会話をもとに、インプットからアウトプットまで段階を追って練習します。「会話1」では目的のタスクを達成する会話を、「会話2」ではスピーチや発表などの独話を扱っています。

1. **やってみよう** モデル会話に入る前に、その会話の状況でまずロールプレイをすることで、自分が今どのくらい話せるかチェックします。
2. **聞いてみよう** モデル会話を聞き、内容や流れをつかみます。
3. **モデル会話** スクリプトを読んでモデル会話を文字で確認するとともに、「フローチャート」で会話全体の流れを視覚的に確認します。
4. **練習しよう** モデル会話から抽出された会話パターンに沿って、自分の言葉でアウトプットする練習をします。



## 聞く 2つの異なるタイプの聴解練習を行う

「聞く」には「聴解1」「聴解2」の2つがあり、どちらも読み物に関連した内容になっています。聴解1は、図表を見ながら講義や説明を聞き、必要な情報を読み取る「聴読解形式」です。聴解2は留学生が友人と社会的な話題について話している会話です。議論しやすいテーマになっているので、聞く練習をした後、ディスカッションもできます。

## (2)「ブラッシュアップ」セクション

第7課～第12課の学習とは別に、語彙や表現を広げる活動や漢字学習の役に立つストラテジーを課の後ろにまとめました。

### 上級へのチャレンジ

読み物の中から、文章を豊かにする表現を取り上げ、語彙力・表現力の向上を目指します。以下の項目については、その該当課の関連箇所と同時に学習すると効果的です。最後の「⑧インタビュープロジェクト」は第8課、第10課、第12課で学んだことを活かして行うプロジェクト活動です。

#### 上級へのチャレンジ

① 視点

② 四字熟語

③ ことわざ

④ オノマトペ

⑤ カタカナ語

⑥ 接続詞

⑦ 慣用句

⑧ インタビュープロジェクト

#### 関連する本文の部分

■ 第7課：書く

■ 第8課：読み物1

■ 第8課：読み物2

■ 第9課：読み物1・読み物2・会話2

■ 第10課：読み物1

■ 第11課：読み物1・読み物2

■ 第12課：読み物2

■ 第8課：書く／第10課：書く／第12課：書く

### 漢字チャレンジ

部首に関する知識や読みのヒントとなる「音符」に関する知識など、中級以降の漢字学習に必要なストラテジーを12項目取り上げました。これらを学習することで、漢字の意味や読みが推測しやすくなったり、これまでに学んだ漢字の知識を整理し直したりすることができ、中級以降ますます重要になる漢字力を効率よく伸ばすことができます。

## (3) 巻末

- **聴解 解答・スクリプト** 「聞く」セクションの2つの聴解問題の解答とスクリプト全文。選択問題・○×問題の解答と記述式の問題の模範解答を載せています。
- **文型・表現さくいん** 「文型・表現ノート」の項目の五十音順リスト。
- **単語さくいん** 別冊の「単語リスト」に収録した単語の五十音順リスト。

## (4) 別冊

テキストに付属する「別冊」には、単語リストと「覚える単語と例文」、および漢字リストを収録しました。

- **単語リスト** 読み物に出てくる未習単語のリスト。このうち、覚えるべき重要な単語については、リストの後に「覚える単語と例文」として例文とともに示しています。
- **漢字リスト** 読み物に含まれる学習漢字のリスト。漢字の読みと意味、書き順、熟語とその英訳を載せました。アミがけされた漢字は必修漢字で、書けるようにする必要があります。

### [単語リスト]

漢	行	単語	読み	意味
	0	旅館	りょかん	Japanese style hotel
		加賀屋	かがや	Kagaya
		女将	おかみ	proprietress
①	2	100選	ひゃくせん	a selection of 100 (hotels)
②	◇	総合	そうごう	overall
		一位	いちい	the first place
③	1.	おもてなし	おもてなし	hospitality; service
	2.	◆ [~に]到着(する)	とうちゃく(する)	to arrive
	◇	お迎え	おむかえ	welcoming
	9	館内	かんない	inside of the building

### [覚える単語と例文]

③	1. おもてなし	家に来た客にお茶とお菓子を出すのは「おもてなし」の一つだ。
	2. [~に]到着(する)	飛行機が時間通りに空港に到着した。
	3. 肩	息子は私の肩ぐらいの背の高さだ。

- ① 読み物内でこの単語が出る行数を示す。「0」はタイトルの意味。
- ② その課で学習する漢字が含まれている単語には◆か◇が付く。◆は読み書きできるようにすべき単語、◇は読めればよい単語。単語内で下線が付いている字が学習漢字。
- ③ 「覚える単語と例文」の番号。

### [漢字リスト]

④	読み物 1	373	総	general; overall	ソウ	◇総合(そうごう) overall 総理大臣(そうりだいじん) prime minister
						(14) く と 么 夕 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸
		374	到	reach	トウ	◆到着(とうちゃく) arrival 到達(とうたつ) attainment
						(8) 一 一 一 一 一 一 一 一

- ④ 学習漢字 アミがかかっている漢字は、書けるようにすべき必修漢字。
- ⑤ 漢字の意味
- ⑥ 漢字の読み 音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで示す。
- ⑦ 漢字を使った単語 ◆◇は読み物に出てくる単語(=単語リストに載っている単語)。◆は読み書きできるようにすべき単語、◇は読めればよい単語。

## (5) 音声ファイル

以下のセクションには、ダウンロードできる音声が付いており、テキストではヘッドフォンのマーク (🎧) で示しています。

- **読む** 「読み物 1」「読み物 2」の本文、「文型・表現ノート」の各項目最初の例文
- **話す** 「会話 1」「会話 2」のモデル会話
- **聞く** 「聴解 1」「聴解 2」
- **別冊** 「覚える単語と例文」

### ダウンロード方法

▶ スマートフォンやタブレットから (iOS / Android)  
ジャパンタイムズ出版の音声アプリ「OTO Navi」をインストールして、本書のファイルをダウンロードしてください。

▶ パソコンから

以下の URL にアクセスして、Zip ファイルをダウンロードしてください。

<https://bookclub.japantimes.co.jp/jp/book/b546854.html>



## (6) その他

「QUARTET Vocab & Kanji」(iOS/Android)

テキストの単語や漢字が学習できるアプリを別売しています。

## 3 ワークブックⅡの構成と内容

ワークブックには、テキスト各課の「読み物」と「文型・表現ノート」に関する練習問題があります。

- **読み物ワーク** 「読み物 1」「読み物 2」それぞれについて、A. 読み物の内容に関する正誤問題、B. 読みの戦略の問題、C. 内容についてより詳しく問う質問タイプの問題、の3つを用意しました。
- **文型・表現ワーク** 「文型・表現ノート」の項目に関する練習問題には2タイプあり、Aはアウトプットまで求める項目 (テキストで★がついているもの) に関する基本問題、Bはその課で出ているすべての文型・表現を網羅したまとめの問題です。

また、テキストの「ブラッシュアップ」にある「上級へのチャレンジ」と「漢字チャレンジ」の練習問題も用意しました。「上級へのチャレンジワーク」と「漢字チャレンジワーク」は、テキストで学んだ後にその確認として行ってください。